

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		衣料品専門店（経営者）	・今が少し悪いので、これから上がってくれるかとみている。
		スーパー（販売企画）	・2か月先は消費税の引上げ前で駆け込み需要が期待できるので景気は良くなるとみられるが、3か月先は増税月となり景気は悪くなるとみている。しかし、キャッシュレス使用による5%還元効果も少し期待できるので、大きく落ち込むことはないと予想する。
		コンビニ（経営者）	・ファーストフードやサラダ等の売上が上昇しているので良くなるとみられる。
		百貨店（店舗企画）	・免税売上の傾向は変わらないと考えられるので、全体的にダウンすると予測される。また、新規大型商業施設の影響も徐々に受けるものとみられる。
		コンビニ（代表者）	・観光による県経済の安定は今後も継続すると判断する。全業種で人手不足が現在の最大の課題である。
		衣料品専門店（経営者）	・今回は、近隣の郊外の大規模商業施設がオープンしたこともあり、客の流れが少し変わった感がある。しかし、客の購買意欲は相変わらず、余り良くは感じられない。このままでは、余り来月も期待できない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・販売量が大きく増減する要因は特に見当たらない。増税前の売上増は当業種ではさほど期待できないようにみられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現在の予約状況から推測される今後2～3か月の客室稼働率も今月同様に前年実績を下回る見込みである。新規の大規模ホテルが開業したこと等、競合ホテルが増えたことにより、なかなか前年実績を上回ることが難しい状況が続く。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築工事の受注は順調だが、下請業者の職人不足に懸念があり予定どおりに工事が進捗するか不安である。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅展示場への来場組数は前月比、前年同月比共に減少したが、2世帯住宅の相談件数は前月比6%増と増えている。
		商店街（代表者）	・最近は立ち飲み対応の小さい飲食店が多くなっている。物販業はギリギリの状態になって、代わりに飲食店が商店街のあちこちでできており、客の奪い合いが起こっているとみられる。物販業は大変危機感を抱いている。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・客は買物に関しては慎重になっているし、インバウンド客も減る傾向にある。
		スーパー（企画担当）	・消費税増税による消費低迷が見込まれる。
		旅行代理店（マネージャー）	・消費税が上がるのが確定した場合、消費行動としては旅行は後回しになるのでもっと悪くなりそうである。
		通信会社（営業担当）	・9月は増税前の駆け込み需要が予想され多少の伸びは期待できるが、10月以降は新規キャリアの参入や電気通信事業法の改正により販売が厳しくなるとともに、他キャリアへの流出が増えると予想される。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は芳しくなく、消費税増税による観光需要の落ち込みが懸念される。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・今まで経験したことのない厳しい求人難、天井知らずの人件費の上昇、働き方改革による時短やいろいろな優遇処置、消費税増税、来年の健康増進法の改正で飲食店の全面禁煙など、またコンビニ、ファーストフードまでが競合店となったことにより、飲食業界の再編が進むと予想される。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・学校改築工事などの公共工事がやや上向き予定である。
		輸送業（経営企画室）	・コンビニ新規企業の参入による一時的な消費の増加が見込まれる。一方、昨今の国際問題により観光産業へ少しばかりの影響があることは否めず、微増ということになるだろうと考えられる。
		輸送業（代表者）	・先島地区はホテルや量販店等の民需や、港湾、道路の官需も増勢で、特に宮古島は陸上自衛隊関連の建設工事もピークとなっている。基地建設優先で製品出荷が厳しい砕石は、積出港も混雑していて先島向け出荷への重荷となっている。
		広告代理店（営業担当）	・大型商業施設やリゾートホテル等のオープンで県内市場は活況が続いているものの、県内市場向けの販促活動は、既存企業が厳しい競争環境に置かれていることで停滞気味である。
		会計事務所（所長）	・景気を大きく変動させるような事象が見受けられない。

		食料品製造業（総務）	・アフリカ豚コレラの影響で豚原料を始め豚肉使用の加工品や缶詰類の価格上昇傾向がみられ、全般的に値上げの動きがあり、今後消費活動にどう影響するかが不安である。
		建設業（経営者）	・まだまだ引き合いが低調な状況で、具体的な商談には進まない。
	x	-	-
雇用 関連		-	-
(沖縄)		-	-
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・これから新規求職者数が更に減少していく。
		求人情報誌製作会社（編集室）	・毎年8月は若干、求人件数が減少傾向になるが、9月は来期スタートの企業も多く、若干上昇するとみられるが、7月の件数と比較すると余り変わらない。
		職業安定所（職員）	・求人数が増加しており、非正規雇用を正規雇用に変えて求人を出す企業も若干ながら増えていると感じられることから、企業の人材不足は進んでいるとみられるが、2～3か月の短期的に大きな変化はないと予想される。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業の採用の在り方が変化しつつある。これから数か月は求人数が更に減少する心配がする。
	x	-	-